

デジタルで送迎用バスの置き去り防止を支援します

通園バス終業点検アシスト装置 CSE-2207A



構成

- 車両後部の天面付近に設置した本体
 - 車内スピーカー、車外スピーカー
 - SOSスイッチ
- の4点から構成されています

ICカード(JRのスイカと同様)

- エンジンキーフォルダに非接触ICタグを取り付け(ドライバータグ)
- 非接触ICカードを添乗者が携行(添乗者カード)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

始業点検

- エンジン始動後に添乗者カードをタッチすることによりセルフチェック（自己診断）のシーケンスが開始され運行準備が完了します。

園児を降ろした後の終業点検

- 運行終了後にエンジンキーを抜く。
- 車内点検を促すアナウンスが再生された後、音楽を再生し高輝度赤色LEDが点滅します。
- ドライバーと添乗者が車内点検を実施します。
- 各々が携行した非接触ICタグとカード（JRのスイカと同様）を本体に順番にタッチします（タッチ順不同）
- ダブルチェックが完了し音楽の再生を停止しLEDを消灯します。
- 5分以内にダブルチェックが完了しない場合は点検を促すアナウンスが再生され、チャイムとLEDが点滅します。
- 3回まで繰り返し（リトライ）し前記ダブルチェックが完了しない場合は、車内と車外に取り付けたスピーカーから点検を促すアナウンスが再生されます。
- ダブルチェックを完了した後に本装置はローパワーモードとなりバッテリー上がりを防止します。

SOSスイッチ

- 終業点検が終了したにも関わらず万が一SOSスイッチがオンとなった場合は知先にメッセージを送ると同時に車外スピーカーからSOSアナウンスが流れます。
- 5分間隔で3回リトライしさらに救出されない場合は予め登録した電話番号に電話をします。
- 電話は固定電話、または携帯電話、スマートフォンで電話に出ると音声合成でSOSアナウンスが流れます。
- 救出した後ICタグとICカードをタッチすることにより、本装置はローパワーモードとなります。

メッセージ通知

- セルフチェック結果、運行準備完了、車内点検中、車内点検リトライ、車内点検完了、SOSスイッチオン、電話をかけた、各事象に対しインターネットを介してクラウドサーバーに情報を送信し当該サーバーにより運行及び点検結果をデータベースの記録するとともにLINEまたはメールで予め登録した、複数の通知先にメッセージをリアルタイムで通知します。
- 前記データベースに記録したデータは月報としてCSVフォーマットでダウンロードできます。



YouTube動画

試作版の動画ではブザーと、テキスト音声合成のため発音が不自然でした
量産品はMP3フォーマットで予めメモリーに録音しそれを再生する方式に改良し自然な発声となり、アナウンス、音楽、チャイムがスピーカーから再生されます。



製品ページ

本製品は、正しく使用することによって送迎用バスの置き去り防止を支援する装置です。

代理店

株式会社ファインドテック

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町16-11-404

TEL: 048-422-4200 FAX: 048-422-4305

製造元

株式会社イズミ

〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田3-4-1-102

MAIL: info@izumi-dec.net

